

## 2022年度事業計画

新型コロナウイルスの影響により、依然として厳しい経営環境が継続しているが、公共交通として、また地域交通ネットワークの要としての使命を果たすべく、利用者の安全の確保を最優先にしつつ、県・沿線自治体・他の交通事業者等とも連携し、ウイズコロナ時代に適応した事業運営を模索し、更なる利便性の向上や経営の安定化に取り組む。

また、2024年春に予定されている金沢以西延伸開業まで2年を切り、県下全線開業に向けて本格化する準備作業を着実に進めるとともに、将来に亘って地域から愛され、信頼される鉄道会社として、地域の発展、住民福祉の向上に寄与できるよう全社員一丸となり取り組む。

### 1 安全の確保

鉄道事業者にとって輸送の安全確保が第一であり、全社員に安全に関する行動規範である「安全綱領」、「安全行動指針」の更なる浸透を図る。

また、安全対策の改善・充実を図るため、各部門の責任者で構成する安全推進会議を定期的で開催するとともに、日常業務に潜む「慣れ」を払拭し、地道にコツコツと安全レベルの向上に取り組む。

加えて、人の死傷に関わる事故防止や踏切での列車との衝突防止に努めるほか、気がかり報告を活用した予兆管理を行うとともに、P D C A展開による、安全安定輸送の確保に努める。

こうした取り組みを通して開業以来の「重大事故ゼロ・重大インシデントゼロ」、「重大労災ゼロ」の継続を目指す。

- 規程類、マニュアル類の根拠を理解し、「考動」する教育を促進する。
- 基本作業・基本動作を実行し、「安全意識の向上」を図る。
- 異常時・自然災害時の対応能力を高め、情報の共有と組織を越えた迅速な復旧による正常運転の確保に努める。
- 設備・車両管理を徹底し、的確なメンテナンスにより、リスクの低減に努める。
- 鉄道テロ行為及び列車妨害行為への対応能力向上に努める。
- 「気がかり事象・ヒヤリハット」等を活用し、「P D C A」サイクルの活発な展開により、社員・系統間の「安全意識の向上」を図る。
- 安全に対する知識・技術力向上のため教育・訓練を充実する。

## 2 利便性の向上

利用者のニーズ等を踏まえた運行計画はもとより、地域のイベントに合わせた臨時列車の運行、パーク&ライド用駐車場による利用促進や企画きっぷの販売等利便性の向上に努める。

また、利用者の皆様が気持ちよくご乗車いただくために、社員のおもてなし力(接客)の向上に努めるとともに、駅のバリアフリー化を図る。

- ご利用状況やお客様からの声を検証し、引き続きご利用しやすいダイヤ設定に努める。
- ホームページ等に寄せられたお客様からの意見や要望を社内で共有し、積極的な改善に努める。
- イベント等に合わせた臨時列車の運行に努める。
- 並行在来線他社等と連携した企画切符の販売に取り組む。
- 新たなイベント・ツアー商品の企画造成に取り組む。
- お客様と当社をつなぐ「いしてつ愛あーるクラブ」の内容充実を図る。
- 接客教育による身嗜み・接客スキルの向上、きめ細かなサービスの提供に努める。
- 新学期における乗車マナー向上のための乗車案内等を実施する。
- 森本駅上りホームエレベーターの整備に着手する。(22 設計、23 工事)

## 3 経営の安定化

組織の活性化を推し進めるため、社員が自ら考え、組織として行動できる人材の育成に努めるとともに、社員相互が系統、職種の枠組みを越えて教え合う、学び合う風土を醸成する。

また、社員のコスト意識を高め、より効率的効果的な事業展開を推進すると同時に、関連事業の改善による収益増を進め、経営の安定化に努める

加えて、金沢以西延伸に向けて人材の確保や新たな事業の検討を進める。

- すべての社員が常に高い倫理観、責任感を持ち法令順守の意識に基づいた行動を徹底する。
- 若手社員の計画的な人材育成を進めるため、研修カリキュラム及び必要な教材の充実にも努めるとともに、自ら業務に必要な知識技能を学べる環境づくりを進める。
- ベテラン社員の熟練した技術の継承を更に強化するため、OJT や直轄工事を通じた技術・ノウハウの向上に努める。
- 社員のコスト意識を高め、日常の身近な取組を進めるとともに、将来を見据えた新たな設備投資によるコスト削減を進める。

- ICTを活用した業務効率化によるコスト削減を進める。
- 人材確保のために、就職フェア、企業ガイダンスに出展するほか、就職・採用情報サイトを活用し、求人活動を展開する。
- 駅構内及び車両を活用した営業収入の確保、駐車場事業など社有資産の活用など関連事業の見直しによる収益増加に取り組む。